

# 校長通信「つぶやき」 佐伯市立鶴谷中学校 校長 渡邊和彦

令和6年5月31日 第11号（通算第66号）

## ○変わりゆく部活動

いよいよ、来週の火曜日から市総体が始まります。3年生にとっては最後の市総体。部活動での最上級生になった昨年の夏から、あっという間だったのではないかと思います。来週月曜日には体育館で市総体に向けた激励会が予定されています。この計画・準備の中で「忘れてはいけないな・・・」と感ずることがあります。地域に移行した、かつて本校にあった部活動、あるいは、学校が公認してきた社会体育の活動、また、学校外で活動している各種のクラブチームのことで、今年度の市総体には歴史上初めて、地域で発足したクラブチームも大会参加が認められています。本校に在籍する生徒の中にも20名を超える生徒達が、いわゆる「学校の部活動以外の団体のチームメンバー」として市総体に参加します。そして彼らや彼女らも紛れもない本校の生徒達です。ナビオスポーツクラブとして大会に参戦する元サッカー部の皆さんにも、バドミントンの選手にも激励会では決意表明などの場面を設定させていただきました。入学したときに鶴谷中サッカー部として入部したわけだし、バドミントンの皆さんも、いままで、激励の対象とさせていただいてきたからです。

しかし、今後、様相は随分変わっていくと思います。入学前から、あるいは入学したときから、市内や市外のクラブチームで頑張る生徒、また、中体連の大会には参加しないが、いずれかのクラブチームで頑張る生徒、個人で武道やダンスなどの団体に所属し頑張る生徒、佐伯市で発足した地域に移行した団体で、中体連の大会に参加する生徒、そして鶴谷中の部活動に所属する生徒。どんどん、多様化していきます。計画通りに行けば、令和8年度から、すなわち、今の中学1年生が3年生となった春から、休日のみ学校の部活動は地域移行する予定だそうです。（※学校のある平日は従来通り学校で部活動が行われる。）令和5年4月佐伯市教育委員会発出「佐伯市における部活動の段階的な地域移行」に関する方針について【概略版】より

どんなに多様化し地域移行が進んでも鶴谷の子どもたちが頑張っているのであれば、応援したい。激励したい。がんばった証を記録に残してあげたいと思います。

かつて、体育祭などで、部活動紹介のパレードなどがありました。その様子をテントの中で見つめる学校外のクラブチームの皆さんや、文化部の皆さんや、部活動に所属してない皆さんはどんな思いだったかなと考えると、少し胸が苦しくなります。

多様化するスポーツや文化活動を取り巻く様々な環境、支援や対応は今後どうあるべきなのか、教育委員会の皆さん、育友会の皆さんや、保護者の皆さん、地域の皆さんや教職員、生徒達と考えていかなければなりません。そして、考えたり話し合ったりすることで、今まで見えなかった問題点やアイデアが生まれてくることもあります。どんな機会

もかまいませんので、ご意見やご質問をいただければと思っています。そして、学校外であった「子どもたちのがんばり」については、学級担任などを通してお知らせください。お待ちしております。